

2022年3月24日

ボランティア活動に携わる学生のみなさんへ

感染対策下における活動について

成蹊大学ボランティア支援センター

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大について、予断を許さない状況が続いています。

ボランティア活動は実際に地域や社会に出て取り組むことが多い活動ですが、特に学外で、対人支援や対面を伴う活動は今なお慎重な判断が求められる状況にあります。

以下には、皆さんがこのような状況下で今後活動を行うにあたり、感染症対策の徹底のためのポイントや本センターの利用方法、学外活動および本センター登録団体の活動における注意点などをまとめましたので、十分に理解してボランティア活動に取り組むようお願いします。

※感染・濃厚接触等が判明した場合のボランティア支援センターへの連絡について

ボランティア支援センター登録団体の場合には、感染・濃厚接触判明の段階でその事情をただちにボランティア支援センターに連絡するようにしてください。それ以外のみなさんも、ボランティア活動中やその前後に自身の感染や濃厚接触・濃厚接触の疑いが判明したときには、ただちにボランティア支援センターに連絡をお願いします。

(1) 感染症対策の徹底のために4つのポイントを再確認してください。

①【自分自身が感染しない／他人を感染させない】

- ・感染症対策の基本は、日々の体調管理です。活動日だけではなく日頃からの手洗い、毎朝の検温などに努めてください。
- ・飲食時以外は(特段の理由がない限り)不織布マスクを正しく着用してください。咳エチケットは特に注意してください。

※マスクにおいては、着用素材によって飛沫防止に大きな違いがあり、ウレタンマスクや布マスクよりも飛沫防止効果の高い不織布マスクが推奨されています。

・基本的な対策はもちろんですが、クラスターの発生が危惧されるような場所への出入りを控えるなど、まずはみなさん自身が感染しないことに努めてください。

・体調や感染への不安が生じた際には、医療機関や保健所、帰国者・接触者相談センター等の適切な機関へ相談してください。

・ボランティア活動およびその前後も含めて人との接触・行動履歴を記録しておきましょう(「ボランティア保険」の補償申請を行う際にも求められます)。

※国や自治体などの接触確認サービスを利用することも有効です。

・自らの体調が優れない時は、ためらうことなく活動を控えるようにしてください。

②【活動中にも感染対策を常に意識する】

- ・特に対人支援や対面活動については、活動方法等を慎重に検討し行動するようにしてください。

※フィジカル(ソーシャルディスタンス)を保つ活動方法も検討してみてください。

(相手との距離を最低でも1メートル離す・会話時真正面は避ける・飲食時会話を控える等)

- ・活動の途中で自らの体調が優れない時は、速やかに活動先担当者へ相談してください。
- ・社会福祉協議会などが窓口となって取り扱っている「ボランティア保険」への加入手続きを活動前日までに済ませておくようにしてください(新型コロナウイルス感染症も補償対象です)。

※ボランティア保険に関する問い合わせは、各市区町村の社会福祉協議会へお願いします。

③【適切な情報収集を継続的に行う】

- ・ボランティア活動先の感染症対策状況も含めて情報収集や確認を欠かさず行ってください。
- ・活動先から感染対策に関する依頼や指示等、活動を行う上で遵守が求められることもあります。

※新型コロナウイルスのワクチン接種は任意ですが、ワクチン接種済みであることを応募条件とするボランティア募集や、接種証明書の持参、抗原検査を求める募集も増えてきています。活動開始後にトラブルにならないように、応募時に確認し、疑問点や質問があれば必要に応じて問い合わせをするようにしてください。

- ・自治体や居住地・活動先の社会福祉協議会、ボランティアセンター等が発する情報も有用です。また、状況が急速に変化することもあります。日々更新される情報を注視するようにしてください。
- ・併せて大学やボランティア支援センターが発する連絡や通知も確認するようにお願いします。
- ・以下の資料も一読し、感染および感染拡大の防止に努めてください。

○成蹊大学「対面授業実施時における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン第7版」

<https://www.seikei.ac.jp/university/covid19-info/pdf/guideline.pdf>

(授業実施時を想定していますが、ボランティア活動においても基本的対策内容は同じです。)

○厚生労働省「新型コロナウイルスを想定した『新しい生活様式』の実践例」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

④【悩んだらまずは相談】

- ・ボランティア活動に関する相談はボランティア支援センターでも受け付けています。
- ・新型コロナウイルス感染症について相談したいことや、分からないことがあれば大学保健室へ気軽に連絡をしてください。
- ・悩んだときは、些細だと思うことで相談してください。誰かと話をすることで安心することがあるかもしれません。

(2) ボランティア支援センターの対応や施設利用について

① ボランティア相談の受付について

相談は随時、受け付けています。(相談対応時間:9:00~17:00(土日祝日を除く))

※対面・オンライン(zoom等)・メールで相談が可能です。特に対面の場合にはできるだけ事前予約をお願いします(予約がない場合は当日の対応が難しいこともあります)。

事前予約フォーム:<https://forms.office.com/r/Asqq17bvVd>

※大学から付与されている office365 アカウントからログインしてください。

② ボランティア募集情報について

各団体から寄せられたボランティア募集チラシの配架やポスター掲示、個別相談をとおしてボランティア募集情報の取り扱いを行っています。

ただし、感染拡大防止のため、ボランティア募集情報の提供については、以下に示す基準のいずれかに該当する状況になった場合は、速やかに中止しますのであらかじめご了承ください。

- ・成蹊大学活動制限指針がレベル2以上に指定された場合
- ・政府ならびに首都圏(一都三県のいずれか)において感染警戒を要する情報が発表された場合
- ・その他、感染拡大傾向や学内クラスター発生、センターが取扱停止と判断した場合

※取扱中止期間中であっても、非接触型の活動等については必要に応じて情報提供をします。

③ボランティア支援センター内での活動について

少人数でのミーティングや作業等を行う際に、ボランティア支援センターの屋内施設を利用することができます。

- ・同時使用人数の制限(最大8名)や、備品貸出や施設使用を一部制限します。
- ・入退室記録への協力や、ボランティア支援センターが定めるガイドラインを遵守してください。
- ・詳細については別途掲示等で周知します。確認をしてから活動を開始してください。

※開室時間内(通常:平日9:00~17:00)の利用であれば事前予約は不要です。

ただし、感染拡大状況(成蹊大学活動制限指針でレベル3以上が指定された場合)および臨時閉室等によって利用をお断りする場合もございますのでご了承ください。

(3) 学外活動およびボランティア支援センター登録団体の活動について

ボランティア活動は実際に地域や社会に出て取り組むことが多い活動ですが、特に学外において対人支援や対面を伴う活動は、今なお慎重な判断が求められる状況にあります。活動方法を非接触型に切り替えるなど、感染症対策に十分に留意して活動に取り組むようにしてください。

- ・特に学外での活動に際しては、団体としての活動であっても、他の学生や参加者等に活動参加を強要してはならず、他の学生や参加者等が強要されたと感じる言動を厳に慎んでください。
- ・強要されたと感じた際には、活動を断り、速やかにボランティア支援センターにご連絡・ご相談ください。
- ・ボランティア保険への加入を強く推奨しています。団体の場合には、所属する学生の全員に対して、ボランティア保険の加入を強く促してください。なお、保険の具体的な内容の確認や加入手続きはお近くの市区町村等に設置された社会福祉協議会へお願いします。
- ・団体が行う対面ミーティングや作業等の活動は、感染症対策の徹底とボランティア支援センターが定めるガイドラインの遵守を条件に、学内施設(ボランティア支援センターのフリースペースや教室等)の利用を認めます(施設利用ができる者は学生・教職員に限ります)。

※各登録団体に対して本センターから詳細を通知いたしますので、ご確認ください。

以上